

特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム

平成29年度第1回理事会

1. 開催場所 核融合科学研究所1期棟416号室および首都大学東京8号館416号室

2. 日時 平成29年4月29日

3. 現在の理事と出席理事 理事総数3名中出席理事3名
鈴木（村上） 泉、佐々木明、田沼肇

4. 議案

第1号議案 平成29年度定期総会の議案について

- (1) 平成28年度事業報告案、会計報告案について
- (2) 平成29年度事業計画および収支予算について
- (3) 役員改選について
- (4) フォーラムセミナーについて
- (5) 会報について、会報係について

第2号議案 これまでの活動報告

第3号議案 今後の活動について

5. 議案の審議状況

第1号議案について

- (1) 平成28年度事業報告案、会計報告案について

村上理事長の説明の通り承認された。

- (2) 平成29年度事業報告案、会計報告案について

第3号議案の審議内容に即して改訂して総会議案とすることにした。

- (3) 役員改選について

小池監事の意向を確認の上、現理事の再任を提案することとした。

- (4) フォーラムセミナーについて

2016年度フォーラムセミナーは、核融合研の「プラズマ科学における分光計測の高度化と原子分子過程研究の新展開」研究会と合同で12月20-22日に開催することにした。

- (5) 会報担当について

坂上さんに担当を打診することにした。

第2号議案 これまでの活動報告

分科会、作業部会の活動を引き続き行ったことが報告された。

インターネットの活用に関して、webでのフォーラムセミナーのプログラム、要旨、発表資料の公開、フィードバック取得と結果の公開を行ったことが報告された。

第3号議案 今後の活動について

(フォーラムセミナーについて)

核融合研の「プラズマ科学における分光計測の高度化と原子分子過程研究の新展開」研究会と合同で開催するため、研究会の代表者、世話人（東工大赤塚さん、核融合研鈴木さん）と、今年のテーマおよびテクニカルワーキンググループの設置、スケジュールについて打ち合わせ、総会に諮ることとした。

フォーラムの経営の安定化や事業拡大の観点も含めて、今後のフォーラムセミナーの開催方法についていくつかの可能性を検討することとした。

企業を想定した有料の講習会や、学生の教育を想定した、有料の学会形式の研究会の開催について検討することとした。集客の見込める適切なテーマの探索や、参加数の見積もりを行った上で具体的な事業の企画を行う必要がある。それにはフォーラムの会員や、合同研究会の参加者の意向を聞く必要があることから、今回フォーラムセミナーでアンケート等と実施することとした。

(SNSの活用について)

28年度の活動で、facebook アカウントの取得などの準備ができ、利用方法やどのようなメリットがあるかなどの知見が得られ、フォーラムセミナーの企画立案などの機会に活用を試みることになった。

(会報について)

第5号の発行につとめるとともに、次号以降会報を利用したデータのニーズとシーズのマッチングに即した記事を掲載することを考え、データシーズの立場として首都大田沼研究室、電通大中村研究室の紹介から始め、原子分子物理の実験、理論研究室の紹介記事の連載を行うことにした。

(Brochure について)

総会を目標に製作することにした。

(フォーラムの経営の安定化について)

現在のレベルの活動でも毎年3万円程度の赤字となっているため、収入の増加の

可能性について検討し、会費を徴収する方法と、有料のセミナーの開催のような事業拡大によって収入の増大を図る方法があり、29 年定期総会で会費徴収の可能性等の検討を始めることの承認を得、会費であれば適切な金額、収入につながる適切な事業、会員にとって負担しやすい方法（グラントからの支出）、法律や研究所の規則に即して適切な方法などを、会員に対するアンケートを通して調査し、30 年度定期総会で決定して実施することを旨としました。

その他

定期総会を6月9日金曜日に開催することとした。

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人が記名押印する。

平成 29 年 6 月 9 日

非営利特定法人原子分子データ応用フォーラム

議長

鈴木(村上) 泉



議事録署名人

佐々木 昭彦



田沼 肇

